

		事務事業No.		14-	2
事業名	下水道事業会計	会計 特会	款	項	目
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	上下水道課		
施 策	9-6 上下水道整備・管理	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	下水道施設	目的（対象がどのような状態になっているか）	一般会計からの繰出金により下水道使用料の著しい高騰を抑制するとともに、下水道事業の経営安定化を図り、将来にわたってサービス提供を可能にすることで、公共用水域の水質保全と町民の生活環境の改善を目指す。
事業内容	・管渠費・・・・・・・・管路やマンホールポンプ施設の点検、清掃及び修繕等の維持管理に係る費用 ・総係費・・・・・・・・5名分人件費、使用料徴収等、事業活動の全般に係る費用 ・流域下水道費・・・・三重県が実施する下水道処理場における維持管理費用等に係る負担金 ・減価償却費・・・・有形固定資産等の減価償却費 ・その他・・・・固定資産除却費、その他営業費用、企業債利息 ・建設改良費・・・・マンホールポンプ更新工事及びその他公共ます設置工事 ・流域下水道費・・・・三重県が実施する下水道処理場等における改修費等に係る負担金 ・企業債償還金・・・・企業債元金償還金			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	下水道管が起因する事故件数	0	0	0	件	→	0
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）			1,234,062		1,119,275		1,270,974	
財源 内訳	うち一般財源		260,000		299,000		307,000	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	経営基盤の強化に努めながら、ストックマネジメント計画に基づき効率的で適切な施設の改築・更新維持管理を進められるような事業運営を目指す。	③取組の課題	維持管理に多額の費用が必要となる中、財源である使用料収入は人口の減少、節水機器の普及等で減少することが予想される。定期的に経営計画を見直し、適正な使用料の改定が必要である。
②R6年度に実施した取り組み	ストックマネジメント計画に基づくマンホールポンプの更新工事の他、北大社地内の管渠布設工事を実施した。また、不明水調査を引き続き行い、施設の維持管理に努めた。	④今後の改善計画	経営基盤の強化に努めながら、ストックマネジメント計画に基づき、効率的で適切な施設の改築・更新維持管理を進められるような事業運営を目指す。